

事業報告書（令和 4 年度）

事業名 音楽と朗読の世界でつながるプロジェクト

団体名 音楽と朗読の会「金星音読団」 担当者名 後藤智子

※活動の様子がわかる写真と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

【夏のソワレ】

2022.8.6 操山公民館 市民どなたでも 45 人

開場 2 時間前に集合。リハーサルを始めると、音につられて図書館に来ていた車椅子のお子さんが入口からのぞかれました。お母さんがお子さんを 3 人連れて図書館に来られたようで、よかったらどうぞとお声をかけると、お部屋に入り、ガラス琴、竹、宇宙の音を体験されました。

開演 2 分前に宇宙の音から地上へそしてオカリナでの星めぐり。18 時ステージが明るくなり開幕。

第 1 部のセロ弾きのゴーシュは昨年スタジオ録音、撮影したものにアニメーションをつけて編集。45 分の長編です。子どもたちにはちょっと長かったようですが、動物あんどんに明かりがつくと、興味を持ってくれたようでした。ござのおかげもあり、ゴロゴロして、自由な体勢で聴くことが出来ていたようでした。

休憩を挟んで「Life」プロジェクターに映し出される背景と実物の小道具のコラボ、そしてキラキラ星がテーマの音楽。

音楽コーナーはセロ弾きの朗読に出てきたトロメライ(トロイメライ)からスタート。お話はそのあとインドのとらがりの演奏でしたが、今日は本物のトロイメライ。そしてチェロ「白鳥」の音楽を聴かせて下さいました。

最後は星めぐりうたの朗読とオカリナから歌で締めくくりました。

終わるとすぐ子どもたちが、楽器に興味津々。代わる代わる楽器に触れました。

聴いてくださったお客さまからは「童心に戻り、きれいな心になった気がします。いのちの歌には、元気ができました」と感想を教えてくださいました。



【みんなのカフェ&つながれコンサート】

8月16日(火)東山公民館 どなたでも 30人

前半は朗読とプロジェクターでの映像投影を組み合わせでの「Life」と「めっきらもつきらどおんどん」、そして、展開し続ける不思議な立方体を使った「ももたろう」の上演。

休憩を挟んで後半は「双子の星」の上演と、歌と三線による沖縄音楽メドレー。

休憩時にはカフェボランティア・Granma's(グランマーズ)の協力で、挽きたて入れたてのコーヒー、紅茶などが1杯 100円で提供されました。

「金星音読団の“追っかけ、です”とおっしゃる方や、大輪のひまわりの花束を届けてくださる方もおられて、会場は終始暖かい雰囲気になっていました。大人も子どもも一緒になって夏のひとときをゆったりと過ごしました。

感想から

- * マスク越しとは思えない活舌の良さと声量にびっくりしました。沖縄音楽もよかったです。
- * とてもいろんな趣向を凝らしていて、楽しませてもらいました。
- * 素敵な音楽、歌、お話に癒されました。とても優雅に時間をおくることができました。
- * ももたろうの“ルービックキューブ”の手順、操作の素晴らしさにおどろきでした。
- * スライド付きでよくわかり、声・音が入り、楽しく朗読を聞かせてもらい初体験でした。

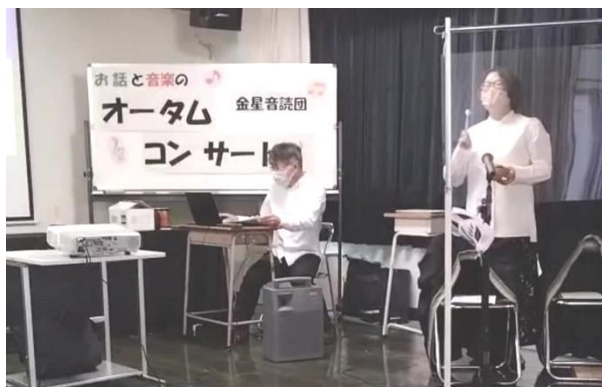


【オータムコンサート】

2022.11.12 上南公民館 どなたでも 20 人

本番は盛りだくさんのプログラムに会場は大人ばかりでしたが、「童心に戻りました！」と楽しんでいただけたようです。ご自分でもおはなしをされているかたから、パワポの作り方の質問もいただきました。12 月予定の学童の方も来てくださり、他のスタッフさんにイメージがわかるように動画を撮っていただきました。

館長さんと操山、東山では館長さんカラーでいろいろしていることとお話しする中で、国語の先生だったこと、閑谷で論語の朗読？をされていたことを教えてくださいました。来年はぜひステキなお声で、宮沢賢治の詩を一篇、とお約束しました。



【物語と音楽で紡ぐクリスマスコンサート】

2022.12.15 東山公民館 どなたでも20人

昨年度はセロ弾きのゴーシュ。今年は宮沢賢治の「双子の星」に取り組んでいる。

朗読と音楽でスタート。絵があった方がイメージしやすいかも、とやりすぎないように、朗読を楽しむサポートになればとプロジェクターで映像をいれるようになった。今回、「双子の星」の映像はイラストをお仕事にしている方に描いていただいた。

そしてもうひとつ林芙美子の「狐物語」。こちらはフリー素材を使って編集。

そして音。ここにこんな音があったらいいよね、というところに廃材で楽器を作ったり、コイズミで仕入れてきたり。既存の曲で当てはまらなければ作曲も。

そして、音楽コーナーでは、公民館ごとにチェロだったり三線だったりで館長さん、職員さんに参加していただいている。今回東山公民館は三線。クリスマスの曲や沖縄の曲のプログラムを演奏♪

お客さまからは、「今日から金星音読団の追っかけします！」と宣言して下さった壮年の方。「感動しました！驚くことばかりで勉強になりました」と休憩、終了時、廃材楽器を珍しそうに見てくださったり、バネの仕入れ先の情報を教えてくださったり、感激した所を伝えに来てくださった。これも壮年の方。今日はめずらしく男性のお客さまの感想を聞かせていただけたステージになった。



【あけぼのクラブクリスマスお楽しみ会】

2022. 12. 23 旭操小学校体育館 あけぼのクラブ 40人

今年最後のイベントは2つのリレーステージ

まずは13時から旭操小学校の学童あけぼのさんのクリスマスお楽しみ会。

小学校の体育館ステージ。寒波の寒い中、じっと聴くイベントはどうか？と心配しましたが、クリスマスソングに合わせてけん玉パフォーマンスに参加してくれたり、ももたろうの掛け声に参加してくれたり、一緒に歌ってくれたり、興味を持って協力的に参加してくれました。

オカリナの音で始まる狐物語では、前のももたろうの「は～あ、それから！」が楽しくて、何人かまだ囃子詞を続けていたのですが、オカリナの音が始まるとシーンと静かになったことがとても印象的でした。

「静かにしてください！」が飛び交う小学生の集団が、その言葉がなくても音をきっかけに聴く体勢ができていました。

「めっきらもつきらどおんどん」は子どもたちがおはなしの世界に引き込まれていくのを感じます。水晶玉のところでは後ろに座っている子達も身をのり出して見していました。

最後に子どもたちから「ありがとうございました」の言葉をいただきましたが、私たちの方こそ楽しい時間を過ごさせていただきました。

【ひまわりサポーターズクラブクリスマス会】

2022. 12. 13 岡山市立東山公民館 ひまわりサポーターズクラブ10人

次はひまわりサポーターズクラブさんのクリスマスイベント

ケーキ作りを終えた子どもたちがあたたかい飲み物を持って、料理講座してから移動して来ました。楽器の箱に興味津々。一つずつ気に入った楽器を持って、席に着いてもらいました。

(様式第8号)

プログラムは学童さんでの内容とほぼ同じ。でもここでは一人ひとりの様子、反応を見ながら進めることができます。手に持った楽器で参加、最後に「じっとして体がかた」と言っていた子がいましたが、一生懸命聴いて、見てくれている様子が伝わってきました。終わったあとには、私たちにも作ったケーキを持ってきてくれました。家に持って帰り、美味しくいただきました。

どちらもお客さまは子どもが中心のステージ、反応がとてもかわいい、楽しいイベントでした。



【スタジオ録音】

2023. 1. 9 音楽スタジオトリノス メンバー7人

今年度のスタジオ録音は宮沢賢治の「ふたごの星」

より多くの方に、朗読と音楽を楽しんでいただけるよう、ていねいに物語を紡ぎました。

Youtube 配信

<https://youtu.be/kY50Top7ZGY>



【カラフルキッズの会たのしいおんがくオンラインコンサート】

2023. 2. 23 Rapo Lab(ラポラボ)より YouTube ライブ配信

再生回数295回(3月7日)

昨年度に引き続きの依頼です。オンラインにすることで、よりたくさんの方に観ていただける企画です。衣裳屋オテンテンさんに配信をしていただきました。

コンサートの内容はアーカイブで公開しています。

<https://www.youtube.com/live/Xt3juXcXljc?feature=share>



2. ESD の視点

① 事業を通じて、参加者にどのような気づきや意識・行動の変容があったか

子どもから大人までどの年代でも楽しめる音楽朗読劇を提供することで、様々な作品の世界に触れる機会を作った。イベント後「こうした催しのかたち（音楽朗読）は初めて体験した」との感想が多かった。また複数回足を運んでくださる方もいた。また、コロナ禍からオンライン配信を利用して、感染の心配なく音楽朗読劇を届けることにも取り組んだことで、音楽朗読に触れる方の人数が増えた。今年度は小学校や、発達障害関係のグループでのイベントもあり、多くの子どもたちに作品に触れてもらえる機会が作れた。子どもたちが集中して聴いてくれたり、一緒に楽しく歌ってくれたりした。終わった後、台詞を繰り返す子どもたちもいた。

② どのように学び合いを取り入れたか

より参加者の方に興味を持ってもらえるように、参加者の年齢層を考えてプログラムを設定した。

③ どのような学びと実践を結び付ける工夫を行ったか

参加型プログラムを取り入れることで、演奏側、観客の一体感を感じられるようにした。公民館での開催は、館の職員の方の得意をお聞きして館独自のオリジナルのプログラムを入れた。

3. 取組の成果（事業計画書に記載した事業の目的・目標をどのように達成できたか。事業を実施してどのような成果があったか。）

公民館のイベントでは様々な年代の方たちが同じ空間で音楽朗読を楽しんでくださった。公民館ごとに職員の方にも参加していただくコーナーを作り、地域の方にも楽しんでいただいた。聴く側演奏側、お互いが楽しみ、次回へ（次年度開催の約束）のつながりもできた。

オンラインコンサートや配信をしたことで、コロナ感染の心配なく、また様々な障害により参加しにくい方たちが、安心できる場所（主に自宅）から音楽朗読を楽しむことができ

た。金星音読団の次のイベントを楽しみに待ってくださる方が出てきた。聴きに来てくださった方が、次回は孫を連れて参加してきてくれた。

4. 今後の課題と展望（事業がどのように岡山地域の ESD の取組と持続可能な社会づくりの発展・継続につながるか）

視覚（映像）、聴覚（朗読、音）からの多様な表現方法を考え、体験型の方法を工夫することで、作品により印象深くかかわれるようにし、家庭に帰った後も物語や音楽が生活の中で活かされるようにしたい。

観客席を工夫したり、オンライン配信を使ったりすることで、にぎやかな場所や公共の場に参加しづらい方にも作品に触れる第一歩の機会を作っていきたい。

次の世代の子どもたちが成長し、活動に関わってきてくれている。負担にならず、自己肯定感、自己有用感を感じられるように留意して一緒に活動していく。